



小堀 孝二 議員

**Q** 庁舎統合問題、早急な決断を!?

長陽地区小学校統合問題では、今後地域住民との意思疎通は？ また庁舎統合については、早急な決断を！

**A** 6月の定例会までには結論を出したい

**村長** 長陽地区小学校統合について、子どもたちの将来を第一にと考え進めてきている。地域の皆さん方とは跡地の問題も含め、十分意見を聞きながら進めていく。庁舎については、これまでつぎ込んだ予算、それらについての監査請求、住民訴訟等も想定しながら、6月の定例会までには結論を出したい。

**Q** プロの行政マンが働く村づくりとは？

これまで取り組んできた改革の成果は？ そして今後どのような行財政改革を目指すのか、また職員数適正化計画は？

**村長** これまでと比べ職員の前向きな傾向は一定の評価をしている。ただけだと思う。職員数については庁舎が分かれていることもあり、厳しいのが現状である。財政面では状況が良いうちに少しでも負債を減らす。

**Q** 稲作農家に対する打開策は？

特に稲作農家は高齢化も含め、米価の下落により窮地に立たされているが打開策はあるか？また駒比地区の具体的な整備計画は？

**A** 地域の方とともに考えていきたい

**農政課長** 耕作放棄地をよみがえらせる為にもまずは道路を改良し、その上で営農組織を立ち上げ農地の集積・集団化等に取り組む。

**村長** 作については国任せではどうしようもないが、難しい問題であり一日でも早く対策を講じたい。駒比地区については課長が答えた通りであるが、費用対効果についても地域の皆さんと共に考えていきたい。



北野 悦之 議員

**Q** 南阿蘇村有機農業の推進と定着化を

有機農法での米、果物、野菜、加工品等、販売先つくりと生産者グループつくりを急務としている。先般の東京、大阪村人会、長野県、山梨県、議員研修で学んだ事も生かしながら、今どうしても村長。トップの旗頭を必要としている。23年度の村づくり、村民が直接潤う農業政策振興を伺う。

**A** 計画策定委員会を立上げ、57号線への道の駅も考えるべきでは

**村長** 生産する事が第一、きっちり販売する事が第二と考える。有機農業推進班の充実、それに加え村全体に広める委員会の設置の為に、委員の人選もほぼ終えている。また、

近隣の市町村のように、57号線に販売拠点としての「道の駅」構想も考えている。その中で、ソフト面的に販売に長けた人材確保は、重要と考える。さらに厳しくなる農業環境においては安心・安全で他所に先駆けて進行していく事がすべてと思っている。

**Q** 有機農法の堆肥助成は？

**村長** 有機堆肥の補助については、有機農業がある程度軌道に乗るまでは、必要であると考えている。安心して取り組んでいただけるような環境をつくりあげていきたい。



販売されている有機肥料「牛若丸」

